

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ゆーあい天馬	評価実施年月日	平成21年9月30日
評価実施構成員氏名	高橋義隆 平川摩弥 高木啓子 吉村信一 有田美鈴 鈴木みどり 寺西敦子 渥美京子 横田春子 土井孝子 川越望		
記録者氏名	平川 摩弥	記録年月日	平成21年10月5日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域の中で差さえていく事業所としての理念をつくり、各所に掲げている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を施設内の見やすい所に貼っている。ミーティングや日頃の話し合いの中で、常に確認できるような言葉掛けを行うように心がけている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>地域の中で暮して行くことの大切さを運営推進会議を通して理解して頂ける様に取り組んでいる。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の方とは普通の会話、挨拶など気楽に声掛けをしている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>自治会の行事等に参加をしたり地元のサークル活動をされている方などを招いての行事も行なっている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>事業所として地域に対して、どのような貢献が出来るか自治会とも話をしている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価を実施する事により外部評価での改善に取り組んで行き意義ある評価につなげて行きたい。		今後も継続して行く。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営会議ではホームの状況等を報告して、その話し合いの意見を活かしている。		今後も継続して行く。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市町村とは担当者も参加する地域ケア会議を通して連携を図り向上して取り組んでいる。		今後も継続して行く。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修等では学んでいるが、実際に活用していく状況でもなく支援はしていない。	○	今後、活用する時があれば支援して行きたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	地域で行われる研修会や、意見交換会への参加をしている。	○	虐待が無いことがもちろん望ましいが、少しのことも見逃さないよう厳しく注意を払って行きたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時等には重要事項説明書などで十分な説明をし、居室などの見学をして頂き理解をして頂いている。		今後も継続して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者から苦情・不満が寄せられた場合はその都度、職員間で話し合い改善している。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>頻繁に来訪される家族へは、その都度現状を説明している。遠方にて、来訪困難な家族には、電話で近況報告をしたり通信等で様子を伝える。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からホームに意見・不満等を寄せられた場合は双方での話し合いは、場を設けて運営に支障が出ないように努めている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティング等で問題点など意見や提案を聞く機会を設けている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>勤務のローテーションを状況に合わせて作成している。また、緊急時には非番スタッフの協力を得ている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>異動等は必要最小限で抑えているが、離職の場合は補充は避けられず、今後も最小限の配慮をしていく。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員には積極的に有資格試験に挑戦して頂くと共に必要な研修は受ける事を薦めている。		今後も継続して行く。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域の同業者とは、必要に応じて意見交換等の場を設けて、相互理解を深めている。		今後も継続して行く。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員の環境作りに対して、親睦会などを通してストレスの軽減や工夫をしている。		今後も継続して行く。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	職員個々の努力や、能力に応じて向上心が報われる取り組みを心掛けたい。		今後も継続して行く。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	可能な限り入居前に本人と面会し、お話を通して要望などを聞く機会を設けている。	○	施設に空きが出てから入居までの期間が短い事もあるが、出来る限り多くご本人の施設見学や事前訪問を行っていきたい。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前の家族の不安や要望をしっかりと聞き、施設としての役割等をできるだけわかり易く説明するよう心がけている。	○	前項と同じで、家族の方の協力を頂き、入居前の関係作りを充実させたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	単身者、独居生活の方が多くもあり、遠方の家族の不安から入居される方が多い。	○	本人や家族が必要としていること、施設として力になれる事を今後もしっかりと見極め、支援していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事前訪問に行っているが、回数が少ない。施設見学に来られる方もいれば、入居時初めての方もいる。	○	現状では、待機していてもいつ空きができるかわからない状態で見学だけに来られる方は少ない。施設としては見学はいつでもオーケーだが、一緒に来られる家族の日程や調整が難しいというのが現状である。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	その人の生活歴を知るため、会話の時間を大切に、興味のあることを引き出し一緒に出来る事があればその人の能力に応じ行っています。(散歩・畑作り・調理・洗濯たたみ・掃除等)		共感しあえる関係に努力していきます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の状況の変化等はその都度・面会時に。また、緊急時には電話にて報告させて頂いています。		家族との連絡は必要時行います。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人が家族に伝えて欲しいことがある時等は、電話にて伝えたり面会して頂いています。	○	外出、外泊が可能な方は、年に数回家族と過ごされる様お願いできるようにしていきたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の馴染みの理・美容室等は継続し、外出できない場合は施設に来てもらい、行っています。		状況に応じ、継続して行きたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	相性、性格等を考えて食事の時の席や外出時にも会話等出来るよう配慮しています。	○	常に一人ひとりの行動や言動に注意し、トラブルのない楽しい毎日を過ごして頂く様にしたいです。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現状はしていません。	○	今後必要な時は、対応して行きたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	リビングで過ごす方、居室でくつろがれる方、起床や食事、入浴の時間が決まっても本人の意向に合わせて行っています。	○	出来るだけ希望を聞けるように努めて生きていきたいです。(散歩、買い物を含む外出支援等)
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活環境等により、それぞれの価値観が違ったりすることも含め、行動等は見守りながら衛生面や危険がある時は、本人や家族の了解を得て撤去させて頂く場合があります。	○	その人の得意な所が発揮できる様なケアに努め、生き生き生活していきます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日がその人らしく生活できるよう体調の変化も観察しながら対応しています。	○	その人の生活リズムを崩さないように努力しながら支援したいです。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画に基づき支援を行っていますが、変化や問題が生じた際はスタッフとカンファレンス等行い、意見交換しながら計画の変更作成しています。		介護計画作成時には、家族に説明行くと共に緊急時も常に連絡しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	変化や新しい問題があった場合は速やかに修正、追加している。また、見直し時の現場の意見を良く聞く。		今後も継続して行く。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の記録を24時間を通し、生活・食事・排泄・バイタルを記入している。また、特に申し送りのある場合は送り簿に記入し、全スタッフで情報を共有している。		今後も継続して行く。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	面会時に日々の生活の様子、緊急を要さない場合の通院報告をしている。毎月、通信を発行し、主に行事の様子等を報告している。		今後も継続して行く
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	火災訓練では地域の消防と連携し、実施している。自治会や役場にも連絡し訓練の見守りをしている。		今後も継続して行く。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の今までの生活の様子等、地域のケアマネージャーや、同業者と話し合い支援を行っている。		今後も継続して行く。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターと必要に応じ協働し、意見の交換等に努めている。		今後も継続して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	体調の変化がある場合には、その都度担当医に連絡・相談し指示をもらう。		今後も継続して行く。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	受診時には、症状の相談をし支持・助言をもらっている。		今後も継続して行く。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	掛かりつけの病院の看護師に相談し、指示をもらっている。また、ケアマネージャーが看護師資格をもっており、本人の状況を観察、相談し助言・指示をもらっている。		今後も継続して行く。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	面会時に、状況説明をしてもらえるよう病院関係者に聞き、対応・強力していく。	○	急な面会では話を聞けない場合もあり、事前連絡をする。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	現在終末期のケアは行っていないが、入居者・家族には話をしている。また、かかりつけ医と今後についての話し合い等行っている。		今後も継続して行く。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	現在終末期のケアは行っていないが、研修等に参加し支援の取り組みを考えたり、今の施設で出来ることを精一杯取り組んでいる。	○	今後検討していきたい支援であり、その中で全スタッフの意識向上も図って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>転居先の関係者との事前の話し合いや今までの情報提供を行っている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人記録への記入時に、入居者の方がわからないようローマ字で名前を記入したり、職員間での申し送り時も、入居者さんが不穏にならないよう配慮している。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者の方が落ち着ける環境を作り、よく話し合い説明し本人の意思を尊重するようにしている。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて、可能な限り支援している。</p>		<p>今後も継続して行く。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>本人の行きつけの店への送迎を行っている。本人同行で衣装の購入をしている。</p>	○	<p>体調不安などがある場合、馴染みの理・美容師さんなどに出張して頂く。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>味付け、盛り付けの工夫をしている。器の工夫により更に食事を楽しめるように心がけている。</p>	○	<p>カロリー制限のある方もいるので、調理法の工夫を心がける。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	アルコールは日常的とはいかないが、イベントなどの時は少々ではあるが飲んでいただく。タバコを吸う方は現在おられない。食べ物の好み等、普段の会話から引き出すようにしている。	○	飲酒については、本人の体調や家族への確認をし取り組んでいる。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	本人のタイミング、記録などの確認をし排泄の誘導、オムツ交換をしている。	○	不快な思いをさせないような声掛けを心がける。また、排便が近い時のサインを見逃さないよう心がける。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴前の声掛け時に拒否があっても、時間を置きタイミングを合わせてスムーズに入浴していただく。	○	曜日が決まっているが、いつでも入浴できるようになっている。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中は体を動かすなどして、快く安眠できるように支援している。		今後も継続して行く
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	洗濯物等家事を一緒に行い、その中で会話をして楽しみながらせいかつしていただく。月ごとに行事を行い、皆で参加し楽しんでいただく。		今後も継続して行く。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理をできるかたには、財布を所持していただいている。また、ホームにてお金を預かっている方も外出時には、それぞれに財布をもっていただき、買い物できる機会をもうける。		今後も継続して行く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居さんがホームの中でだけ過ごさずに、積極的に買い物・イベント参加・散歩に出かけて楽しめるよう工夫する。	○	私物の買い物・散髪・温泉・外食など積極的に外出する機会を作っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	地域のイベント参加、花見・紅葉を見に行くなど支援をしている。	○	積極的に外出し、家族と一緒に温泉や花見等参加して頂きたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	希望に応じて電話・手紙等をいつでも出来るように、対応している。	○	家族への近況報告、連絡等がある時は入居者の入居者の方とも、電話でお話出来るように支援したい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族・知人等が気軽に訪問でき、来訪時は居心地良く過ごせるような雰囲気を作っている。	○	家族・知人を招き交流を行っている。(家族会等の参加)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	転倒防止のためやむを得ず、ベッド柵・センサー等を利用している。家族との十分な話し合いを行っている。	○	転倒には十分注意氏ながらも、必要以上に手は出さず見守っている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は施錠されておらず自由に出入りできる。夜間は、一人体制であり防犯のためにも施錠している。	○	入居者が単独で外出しようとする時には、必ず同行または見守りをしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個人の人格を大切に、顔の表情を観察し気持ちを和らげ安心感を与え、その場に 応じたスキンシップを執り行い介護に配慮し様子を把握し安全に努めています。		今後も継続して行く。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ 取り組みをしている。	物品の管理法は入居者さんに不信感を与えないよう配慮し、行っています。スタッフ 全体、危険を防ぐ取り組みは心がけ行っています。		今後も継続して行く。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に 応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの状態を把握し、立ち上がり・歩行・移動の際、事故防止に努めていま す。誤薬も無いようにセットの時は、2人で確認し、薬を渡す際も名前・顔・声だして 渡しています。		今後も継続して行く。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定 期的に行っている。	体調不良で急変の対応は、町内の診療所に指示を仰ぎます。	○	消防で行われている、救急講習への参加を検討中です。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている。	町や町内会の支援・協力を得て、水害・災害訓練を行っています。交流を深めるた め、自治会の方々とのかかわりを深め協力を得られる様、働きかけています。		今後も継続して行く。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家 族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切 にした対応策を話し合っている。	いつ、どこで何が起こるか、起こさないよう予防対応をとっている。入居者さんの状 況を事前に家族に連絡、確認されたうえで対応策を話し合い、了解済みで行ってい る。		今後も継続して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝のバイタルチェック、身体の動き等の異変の発見に努めている。		今後も継続して行く。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の確認、及び声掛けに心掛けている。個人の受診記録ノートの熟読に努める。		誤薬防止の為、セットの工夫等今後も継続して続けていく。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄チェック表に基づき水分調節や運動促進等に心掛けている。		今後も継続して行く。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝・夕の口腔洗浄を見守り、またはスタッフが支援している。		今後も継続して行く。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食の量を気を付けている。水分量の記入をし、すぐ確認出来る様にしている。	○	水分摂取が困難な場合はゼリーを作る等の工夫をし継続して行く。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	マニュアルを作成し、職員に徹底してもらう。外出時・食事前の消毒等。	○	入居者さんへの声掛けを通し、お互いに意識をし継続する。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材の消費・賞味期限の徹底、保存法や食材を長時間置かないなど、台所にかんしては清潔に保つよう心がけ、調理器具、タオル等の消毒など徹底している。	○	台所にも手指消毒剤を置き調理時の衛生を徹底する。調理者は介助と調理時のエプロンを変える。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	門柱周りやリビングから見える庭に花を植えたり敷地内の草刈を行ったり、玄関の出入り口には物を置かずつまずき等の無いように配慮し、環境整備に努めている。		今後も継続していく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食卓テーブルには花を置いたり、行事の楽しかった思い出の写真を飾ったり、季節感を取り入れた絵や飾りを工夫している。室温調整やレースのカーテンなどで、調光をしたり気を配っている。		今後も継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファや一人用イスを配置し自由に誰もが座れるよう、また和室もあり座卓で過ごせるようにしているが、占領的になっていたり共有空間にてテレビを見たりして過ごすには、ソファが足りず考慮を要する。	○	年齢的にも身体的にも、床に座れない方がほとんどなのでイスが必要である。今後必要に応じ増やすことを検討する。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者の方一人ひとりが居心地良く過ごせるようベッドの配置を考えたり、本人の希望にあわせテレビの位置や、サイドテーブルを置いたり、使い慣れた物や馴染みのある物も置き工夫をしている。		今後も継続して行く
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の際には必ず窓を開け換気している。室温は22度前後、湿度は50~60%を保つよう調節している。居室へ訪問時にも室温や換気等には気を配り、調節している。	○	トイレの汚物いれがヒーターの傍にあるため、冬季に臭いや衛生面に思わしくないため、汚物の回収回数を増やしたり、移動させるなどの検討が必要である。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居さんが必要とする場所に、手すりを付け歩行や立ち上がりやすいようにしている。また、車椅子を必要としている方にベッドから起き上がる際に、介助ヒモを使用して頂いている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続し、状況に応じて改造していく。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>髭剃り・掃除・洗濯たみ等自分で出来ることは出来る限り、して頂いている。また、食事作りの手伝いや、食器拭き・下膳等もして頂いている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続し、自立した生活をより多く送っていただけるよう支援していきたい。</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>畑を作り、野菜を収穫したり玄関口に花を飾り、ベランダや窓から花が見えるように花壇を作っている。また、ベンチを置き、日光浴も楽しめるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続し、皆さんと一緒に見る・植える楽しみを共有して行きたい。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ○②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ○②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ○②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)